



◎妙光寺 みようこうじ



◎瀬谷銀行跡 せやぎぎんこうあと



◎徳善寺 とくぜんじ

飛 鳥時代白雉3年(652)に建てられた明光比丘尼の庵がもとになったという古刹。鎌倉時代には日蓮宗の祖である日蓮大聖人が宿泊、住職の文教和尚が教えを受け改宗したという歴史をもちます。鎌倉時代に鑄造された梵鐘は神奈川県重要文化財に指定されています。

明 治40年(1907)に瀬谷村の村役を務めた小島政五郎が中心となり開業しました。当時、瀬谷村では養蚕が盛んに行われ、明治20年代後半から製糸場が統々と設立されたことが背景にあります。昭和10年(1935)に鎌倉銀行へ合併されるまで、地域の発展に寄与しました。

室 町時代末期弘治元年(1555)の創建。古色豊かな堂々たる山門は古刹の趣きたっぷり迎えてくれます。市名木古木指定のカヤやタラヨウの木は必見。明治新政府の地租改正による増税に反対し訴訟で戦った川口氏・平本氏を称える義民建功の碑があります。



◎相沢川ウォーク あいざわがわウォーク



◎全通院勢至堂 せんつういんせいしどう



◎左馬社 さばしや

相 沢川流域の水と緑に触れられ、初春には河津桜が鑑賞できるプロムナードです。水の音と隣接の「南台こどももり公園」の生い茂る木々を同時に楽しめます。中原街道バス停近くに「榎の木」の石碑があります。弘化元年(1844)江戸城で大火があった時に当地の榎の木を伐採して再建に使用したといわれています。

本 尊の勢至菩薩は夢のお告げによって発掘されたとされており、江戸時代の寛永年間(1624-1644)に建てられた本堂には寿老人も祀られています。境内には明治23年(1890)から昭和18年(1943)までの間、下瀬谷分教場が設けられていました。

祭 神は左馬頭源義朝。創建は不詳。境川・和泉川流域のサバ神社の一つで、かつて川の流域の村で疫病などが流行すると「七サバまいり」と称し、7か所のサバ神社に参詣し厄除けする民間信仰がありました。境内にある梵鐘が神仏習合の姿を残しています。



瀬谷ふるさと歴史さんぽ道ガイドマップ

作成：瀬谷区地域振興課
協力：せや・ガイドの会

作成 平成11年3月
改訂 令和2年3月

このガイドマップは平成11年3月発行ふるさと瀬谷のさんぽみち運営委員会編集による「ふるさとのさんぽ道ガイドブック」をもとに現在の交通事情等に合わせリニューアルしたものです



瀬 谷区には七福神をそれぞれ祀ったお寺があります。古来より人々の福を願い続けてきた七福神に達磨大師を加えて、福の効果も倍増です。さあ、あなたも八つのお寺をまわって、八福神を極めて達人になりませんか？



瀬谷 八福神

妙光寺 大黒尊天



善昌寺 恵比寿神



徳善寺 毘沙門天



長天寺 達磨大師



寶蔵寺 弁財天



西福寺 布袋尊



宗川寺 福祿寿



全通院勢至堂 寿老人

